

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議

ロシアは2月24日、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面的な軍事侵攻を開始した。さらにその後、ロシア軍は、ウクライナの主要な都市を包囲するなど攻撃を強めており、市民の犠牲者は数千人にも達したと報道されている。

これらの軍事侵攻は、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略であり、国連総会の緊急特別総会においても、ロシアを非難し、ウクライナからの即時撤退を求める決議案が賛成多数で採択されたことから、断じて容認できるものではない。

別府市は、これまで国際観光温泉文化都市として発展を遂げ、観光客や留学生はもとより、文化・芸術やスポーツ大会を通じて、世界各国の人々と交流し、市政のさらなる発展を目指しているさなかにおいて、世界恒久平和の理想を追求することを使命とし、絶えず邁進してきたところである。

このようなことから、別府市議会は、ロシアによる侵攻やウクライナの主権侵害に抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア軍の武力行使の即時停止とウクライナから完全かつ無条件で撤退するよう、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求めることを決議する。

令和4年3月8日

大分県別府市議会